

意識調査の結果をどう生かすのか

総合振興計画に盛り込み着実に推進

市長



丹政会 今西 不悖 議員

問 市民の意識調査の結果が出た。「南丹市は住みやすい」が51.6%で、その反面83%が「商店街や商業にぎわいは感じられない」との意見である。市民の意見をどう市政に反映する考えか。

市長 市民が行政に対して

満足を高めていただくことが重要な点とされている。商業振興や中心市街地の課題についてはさまざまな施策を実施しているところであり、施策の方向性を明確にし、市民に理解いただけるような施策の進め方にも心がけ、今回の結果を十分

踏まえまちづくりに生かしたい。

管理者報酬の再検討は

問 一部事務組合の管理者報酬について、府下市町村で格差もある中で、広域行政の意義を市民にも周知し、今後の在り方も再検討

が必要と考えるが。市長 私が管理者を務めている南丹病院組合においては昭和55年に改正以来、30年以上も据え置かれていた。有識者の意見も聞き、今年度中に見直しができるよう検討を進めている。他の組合についても年度内改

正に向け努力していく。

行政サービスの向上に努力を

問 4号庁舎の業務開始時に相談窓口を設置し、市民サービスの向上を。

市長 総合窓口機能が果たせる業務を目指し検討中。



上本町商店街（園部町）

川勝

八木駅舎周辺整備は

地質調査と測量調査を実施

市長



丹政会 川勝 眞一 議員



JR 八木駅

問 早急な八木駅周辺整備がもたられるが、JR西日本との協議の進捗よく状況は。駅前広場の計画と地域住民、商店街、利用者、区長会な

どとの話し合いや、協議会、検討委員会の設置状況は。また、事業費や、今後の担当チームの立ち上げ計画は。

問 敷地内の地質調査を実施し、9月から駅前広場の測量調査を進める。駅前広場と駅舎整備は一体的な

取り組みが必要。本年は基本設計が完成し、概算の事業費を算出して、本庁と支所の連携を図り担当チームで事業を進める。

問 国道477号は西田・青戸地区内の工事を残すのみである。進捗よく状況は。

市長 地元関係者と協議を進めている。現地での立会い、計画説明は、まだできない現状であるが、府と連携をとり早期完成に努力する。

仲

一部事務組合管理者報酬は妥当か

市長



日本共産党市会議員団 仲 絹枝 議員

今年度中に見直す

問 南丹病院管理者である市長に、年間79万2000円の報酬が支払われていることに市民の驚き、不満の声がある。管理者業務は首長の仕事の範囲内だと報酬を廃止している自治体もあるが。

が異なり、二重給与と言われることには抵抗がある。新聞報道を真しに受け止める有識者の意見を聞き、今年度中に見直しを行う。

発達支援センター事業の見直しを

市長 一部事務組合は職責

センターは利用者の増加に伴い、施設のハード面での課題がある。これらの課題は開設当初より予測できたことで、事業のあり方を根本的に見直す必要がある。24年度の日中一時預かり事業の方針は。

問 運営上の課題があるのは事実である。利用者が増加する中で、実施場所の検討も今後行なっていく。事業の継続性を考慮しつつ委託事業の決定を行い、24年度も同様の対応を考えている。

どうなる介護保険事業

問 問題の多い介護保険改

正法案が成立した。今後のサービスと保険料は。



地域包括支援センター（日吉町）

森

災害、福祉に強い地域防災対策を

市長



丹政会 森 爲次 議員

自主防災組織の確立に向け連携



住民による初期消火訓練

問 市の防災計画は見直し作業中であるが、気候や地形等がさまざまな各地域での防災対策が重要と考える。一時避難所、急報設備、避難

路、危険地帯の状況、また要援護者、一時預かりなど福祉面での把握など地域でしか分らない安心・安全に関する情報や、行政システムを踏まえた防災マップ作りと、自主防災組織の確立が必要になってきたと考えるが。

問 消防団、自治会の皆さまとの連携を取りながら防災活動を推進していく。特に地域独自の防災マップ、自主防災組織の立ち上げには積極的に連携していきたい。

地域情報網の二層の活用運用は

問 園部地域の光ファイバー網の完成を残すだけになったが、加入率アップも含めて情報、福祉医療、教育面でより一層の活用運用

が出来ないか。市長 今年度よりデータ放送システムを導入し、気象、緊急、生活地域情報を提供していく。また、産業、福祉、防災などについても今後検討していきたい。教育長 中学3年生を対象とした家庭学習講座は11月をめどに準備中。また将来的に教育活動、情報を教育的に提供できるような取り組み。